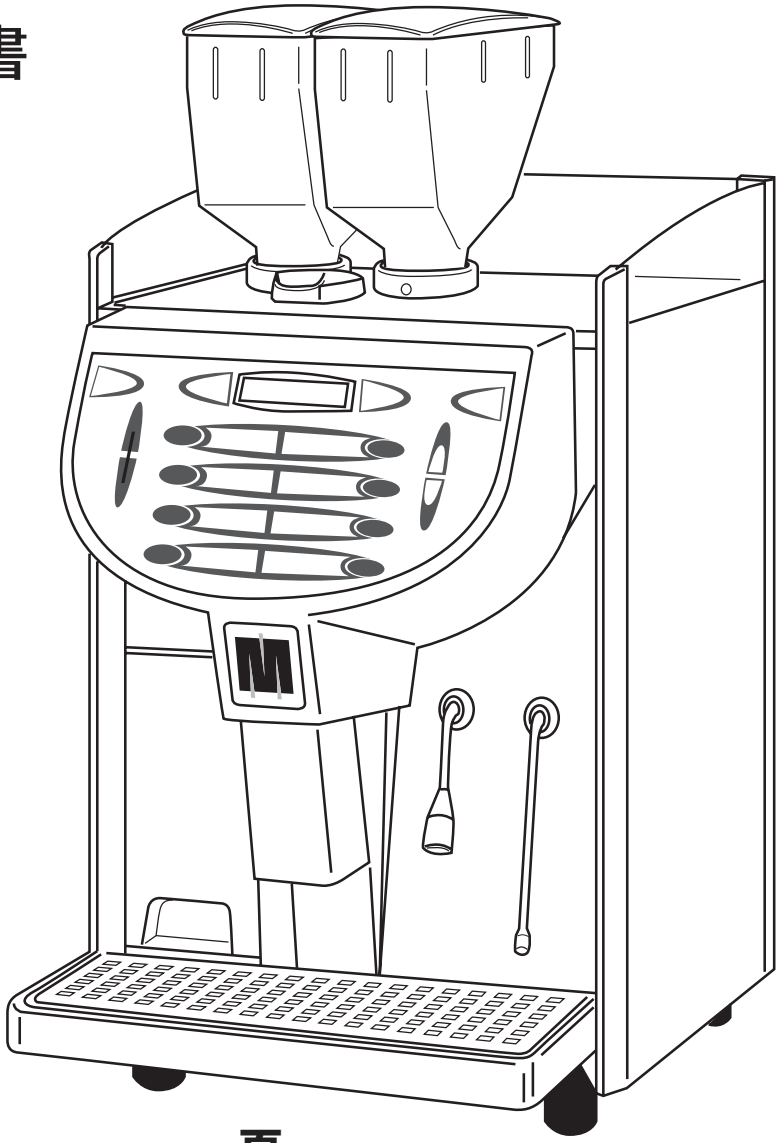
業務用コーヒー抽出機

全自動エスプレッソコーヒーマシン

MEGA

取扱い説明書



目　次　　頁

- 安全上の注意事項 ……1
- 各部の名称とはたらき ……2、3
- 操作方法……4～8
  - 始業時の準備 ……4
  - コーヒーの抽出……5
  - スチーム・熱湯の使用 ……6
  - ミルクの泡立ちの調整 ……6
  - ミルクの量の調整 ……7
  - ミルカーの洗浄……7
  - グループの洗浄……8
  - 終業時……8
- プログラミング（抽出の設定･変更）･･･9～12
- 故障診断……13
- 製品保証書、無料修理規定……14

このたびは メガをお求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に　この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

⚠ 警 告　守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。

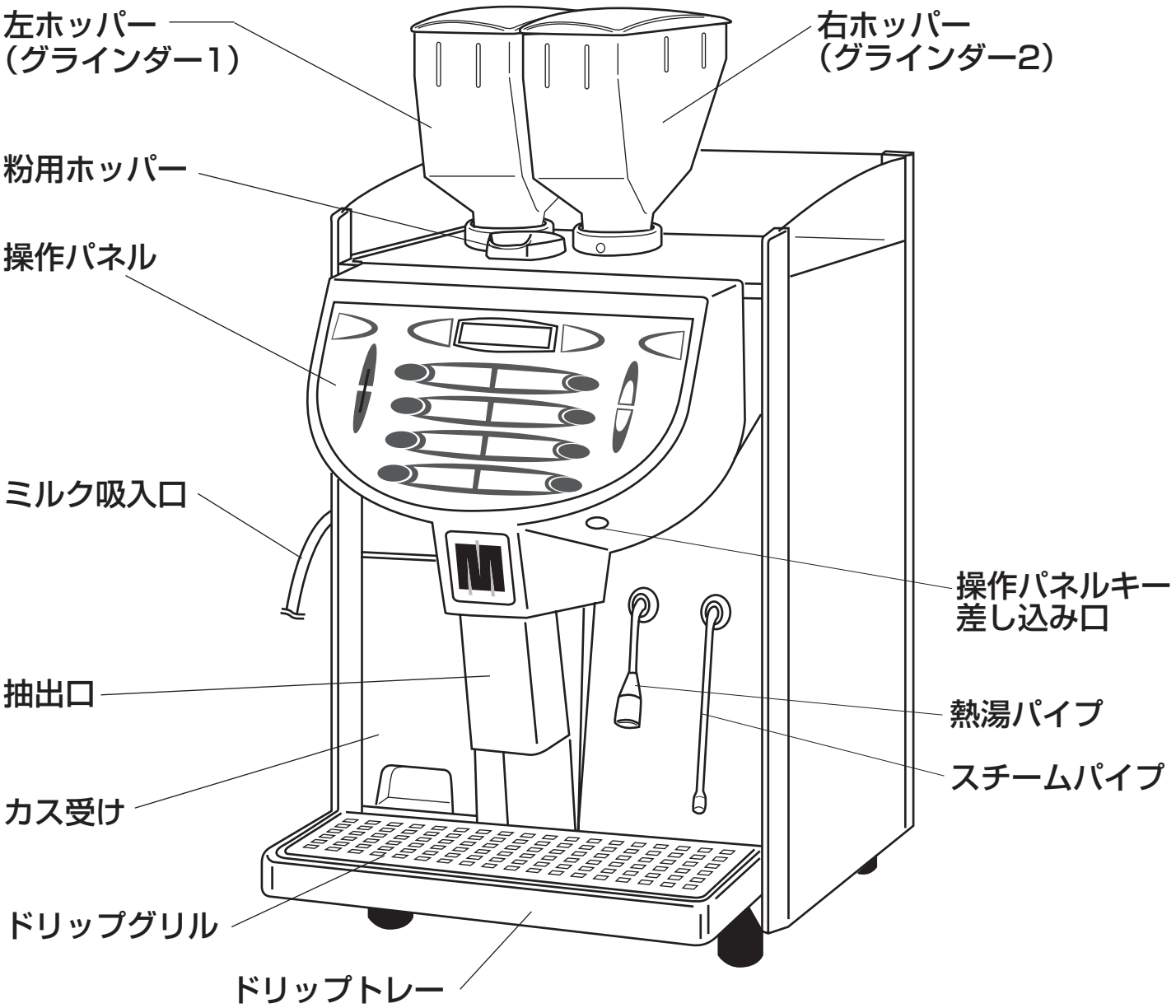
⚠ 注 意　守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

⚠ 警　告
アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。
電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。
機械に水をかけないでください。
水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。
濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。
機械の分解・改造は絶対にしないでください。
修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。
小さなお子様や、不馴れな方が機械に触れない様ご注意ください。
機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、 その指示に従ってください。

⚠ 注　意
振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。
屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。
高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れの ある場所では使用しないでください。
機械の周囲は、およそ10cm以上の空間をあけて設置してください。
設置場所の周囲は、水やコーヒーなどがこぼれてもよい場所を選んでください。
スチーム・熱湯ノズルは、使用中や使用直後、非常に熱くなりますので、 ヤケドに注意してください。
清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
営業終了後など長時間作業者がいない間は、メインスイッチを切るだけでなく 電源プラグも抜いておいてください。
この機械は、コーヒー抽出など、本来の目的以外に使用しないでください。

各部の名称とはたらき



左ホッパー
グラインダー1で挽かれる豆を入れておきます。

右ホッパー
グラインダー2で挽かれる豆を入れておきます。
左右のホッパー共におよそ1.0kgの豆をいれておくことができます。

粉用ホッパー
ホッパーの豆以外のコーヒーを抽出するときに挽いたコーヒーを投入します(ストックできません)。
また洗浄時に洗剤を投入します。

操作パネル（次ページ参照）
抽出・プログラミングをおこないます。

操作パネルキー差し込み口
清掃・保守以外の通常運転時に操作パネルが開かぬ様施錠します。

熱湯パイプ

スチームパイプ

ドリップグリル

ドリップトレー

抽出口
コーヒー・ミルクの抽出口で、容器の高さにあわせて上下させます。

カス受け

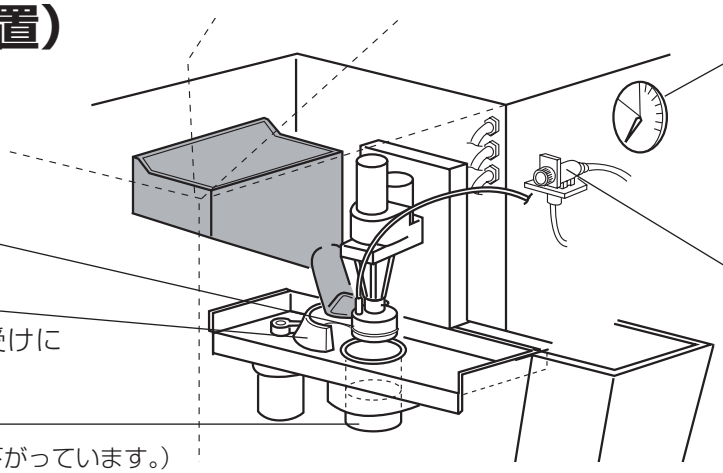
ミルク吸入口

付 属 品

ホッパーシャッター	2ヶ	ミルク台	1ヶ
OWNER'S CARD (オーナーズカード)	1枚	ブラシ	1ヶ
操作パネルキー	1本	フィルター清掃ブラシ	1ヶ

各部の名称とはたらき

内部(抽出装置)



圧力計
コーヒーボイラーの圧力・
コーヒーの抽出圧を表示します。

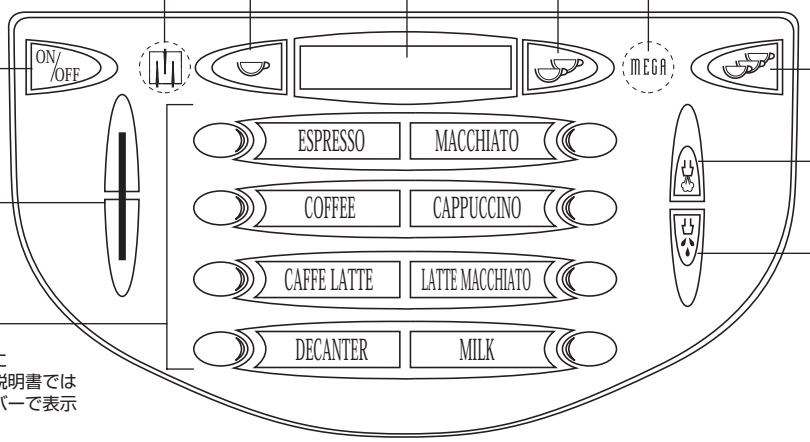
アッパーピストン

スクレイパー
コーヒーカスをカス受けに
かき落します。

ロワーピストン
(通常はシリンダー内に下がっています。)

レギュレーター
エアーの量を調整します。
(ミルクの泡立ちの調整)

操作パネル



1カップボタン(#13)
"マッコ"マーク
ボタン(#12)
ON/OFFボタン
(#11)
カードリーダー
抽出ボタン
※抽出ボタンは、プログラミングに
より変更が可能のため、本取扱説明書では
必要に応じて、カッコ内のナンバーで表示
しています。

ディスプレイ板

2カップボタン(#14)
"メガ"マーク
ボタン(#15)
連続抽出ボタン(#16)
スチームボタン(#9)
熱湯ボタン(#10)

ON/OFFボタン(#11)
ON・OFFモードの切替を行います。
(OFFモードでは、抽出動作は行えません。)
※このボタンは、電源スイッチではありません。

"マッコ"マークボタン(#12)
クリーニング及びディスプレイ表示を一つ前の状態に戻す場合に使用します。

1カップボタン(#13)
選択したドリンクの1カップ分を抽出する場合に使用。
また、プログラミング時の内容変更(減少)を行う場合に使用します。

2カップボタン(#14)
選択したドリンクの2カップ分を抽出する場合に使用。
また、プログラミング時の内容変更(増加)を行う場合に使用します。

"メガ"マークボタン(#15)
ボイラーの温度を表示させる場合に使用。
また、プログラミング時の内容変更を登録せずに次のステップに進む場合に使用します。

連続抽出ボタン(#16)
選択したドリンクを3杯以上抽出する場合に使用。
また、プログラミング時の内容変更を登録して次のステップに進む場合に使用します。

カードリーダー

抽出ボタン

エスプレッソボタン(#1)
エスプレッソコーヒーの抽出、
コーヒー抽出装置のクリーニング時に使用します。

マキャートボタン(#2)
マキャートの抽出、ミルカーのクリーニング時に使用します。

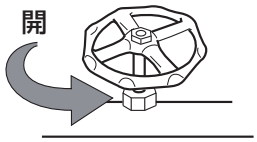
カプチーノボタン(#4)
カプチーノの抽出、ミルクフォームの追加時に使用します。

コーヒーボタン(#3)
カフェラテボタン(#5)
ラテマキャートボタン(#6)
デキャンタボタン(#7)
ミルクボタン(#8)
スチームボタン(#9)
熱湯ボタン(#10)
→ それぞれのドリンク抽出時に使用します。

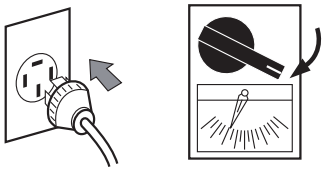
操作方法

始 業 時 の 準 備

1 **水道の元栓を開きます。**

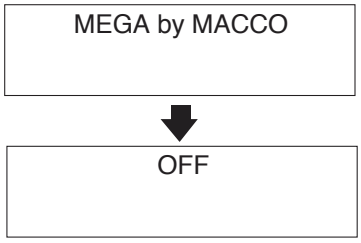


2 **電源をONにしてください。**



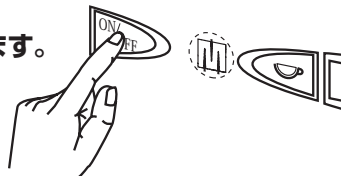
（電源プラグを差し込む、配電函のレバーをONにするなど）

3 **操作パネルのディスプレイが表示されます。**

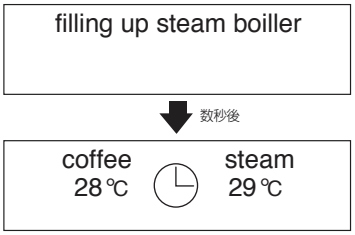


「MEGA by MACCO」と表示された後に、
「OFF」と表示されます。

4 **操作パネルのON/OFFボタンを押します。**

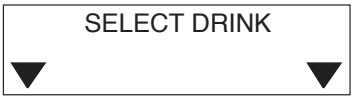


ディスプレイに“filling up steam boiller”と表示されると
ボイラーの満水を自動で確認後、ボイラーの加熱が開始されます。



ボイラーの加熱が開始されるとディスプレイに
ボイラー内の温度が表示されます。

5 **ボイラー温度が適温に達すると“SELECT DRINK”の表示に**
変わります。これで抽出の準備完了です。

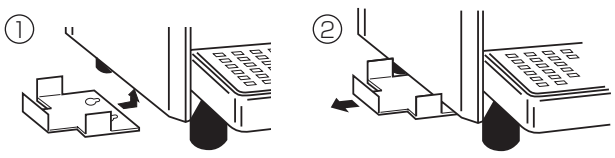


※ディスプレイ下段中央部に▩マークが表示されている場合はスチームボイラーの温度不足で、
スチームを使うドリンクの抽出はできません。
また、ディスプレイ下段中央部に▩マークが表示されているとコーヒーボイラーの温度不足で、
コーヒーを使うドリンクの抽出はできません。
両表示とも、マークが消えるまでしばらくお待ちください。

6 **ミルクチューブを牛乳容器に差し込む。**
ミルク容器が小さい場合や容器内のミルクが少ない場合は
付属のミルク台をご使用ください。

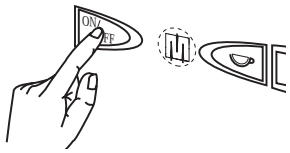
※ミルクの液面が抽出口より高くならないようにしてください。
ミルク使用後に容器のミルクがミルカーより逆流する場合があります。

ミルク台の取り付け方



終 業 時

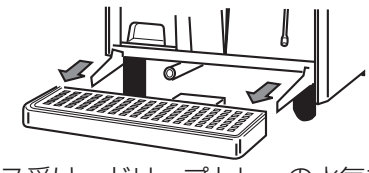
1 **抽出装置のクリーニングが**
終了してから、操作パネル
のON/OFFボタンを押し
て、電源を切ってください。



ディスプレイに「OFF」と表示されます。

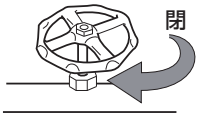
2 **本体外装の清掃、カス受けの清掃を行ってください。**

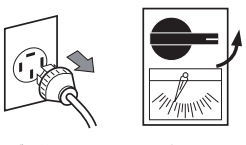
1）本体は湿ったやわらかい布で拭いてください。
2）カス受けのカスを捨て、水洗いしてください。
3）ドリップトレーを引き出し、水洗いします。



4）カス受け、ドリップトレーの水気を
よく切ってから元の位置に差し込みます。

3 **水道の元栓を閉め、**
元電源を切ります。





（電源プラグを抜く、配電函のレバーをOFFにするなど）

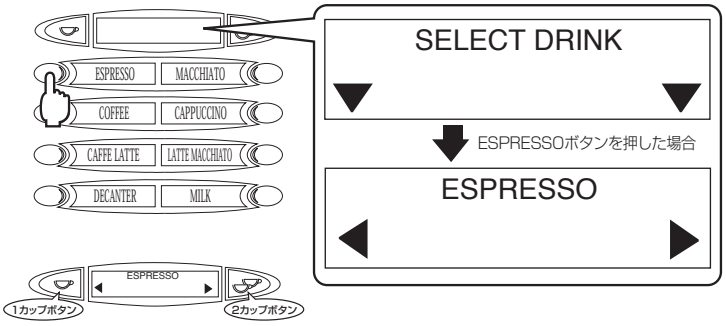
操作方法

コーヒーの抽出（ホッパーの豆を使った抽出）

1 ディスプレイ表示が“SELECT DRINK”であればコーヒーの抽出が可能です。8個の抽出ボタンのうち、ご希望のボタンを選んで押してください。

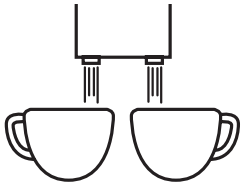
ボタンを押すと、選ばれたドリンク名が表示され▼▼マーク表示が左右(◀▶)に変わります。

1杯分の抽出をするときは、ディスプレイの左側の1カップボタンを、2杯分の抽出をする場合は右側の2カップボタンを押します。



2 コーヒー豆が挽かれて､自動的に抽出動作が開始され一定量を抽出して止まります。

プログラムによっては、1カップ・2カップの選択モードをとばして1カップに設定した内容の抽出をはじめることもできます。
また、1カップ・2カップの量をご希望に応じてプログラムできます。
詳しくは、プログラミングのページをご覧ください。

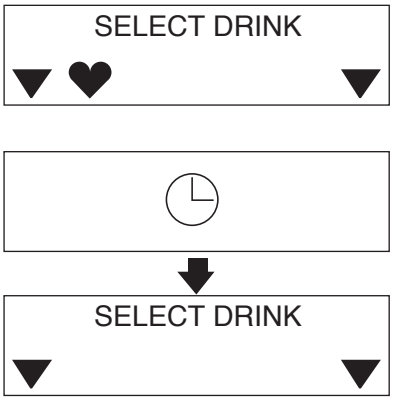


コーヒーの抽出（ホッパーの豆以外のコーヒーの抽出）

※この抽出方法で抽出する場合、連続抽出はできません。

1 カフェインレスコーヒーなどホッパーに入れられた2種類の豆以外のコーヒーを抽出する場合、粉用ホッパーのフタを開けコーヒー粉を入れてフタを閉じます。
ディスプレイ表示には“♥”マークが追加されます。
ご希望の抽出ボタンを押してください。
グラインダーは動作せず投入した粉コーヒーから抽出されます。

※グラインドホッパーが閉じていないか、抽出ボタンが押されないまま約30秒経過すると、この機能はキャンセルされディスプレイには“🕒”マークが表示されます。
このとき抽出装置はコーヒーの排出動作を行ない、投入された粉コーヒーはカス受けに排出され、ディスプレイ表示は初期に戻ります。

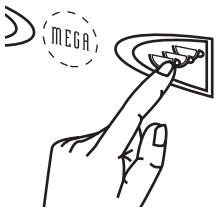


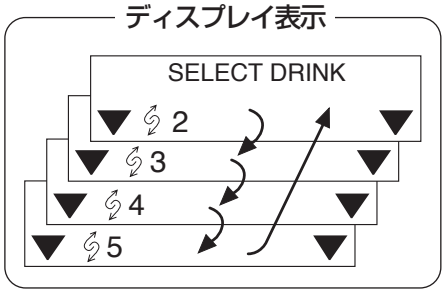
コーヒーの抽出（連続抽出）

1 3杯分以上のコーヒーを抽出したい場合は、連続抽出ボタンを押します。

連続抽出ボタンを押すごとにディスプレイに表示された杯数(回数)だけ抽出動作を繰り返します。(最大5回)

2 希望の杯数に合わせてから、8個の抽出ボタンのうち、ご希望のボタンを選んで押してください。





※連続抽出を開始してからキャンセルする場合は、再度連続抽出ボタンを押してください。
※粉用ホッパーの使用時は、連続抽出することができません。

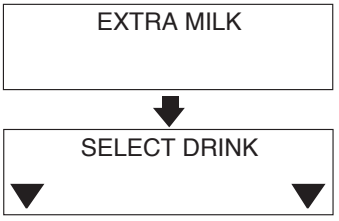
(便利な機能)

ミルクフォームの追加

ミルクを使ったメニューを抽出した際、抽出後にミルクフォームだけを追加することができます。

カプチーノボタンを2秒以上押し続けるとディスプレイ表示が“EXTRA MILK”となり、ミルクフォームの抽出が開始されます。

ボタンをはなすと抽出は停止します。
(ディスプレイ表示は初期状態に戻ります。)



スチーム・熱湯の使用

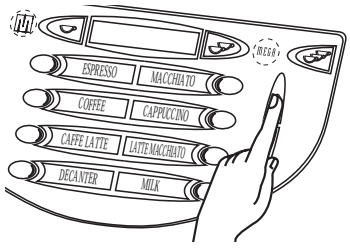
スチームの使用

冷たい飲み物を温めたり、ミルクを泡立てたりするときに使用します。

スチームボタンを押すとスチームパイプ先端のノズルから蒸気がでます。
このときディスプレイ表示は、“STEAM” と表示されます。

スチームを止めるときは、再度スチームボタンを押してください。

※ スチームは自動的に止まりますが、使用目的から約4分（最長）に設定してあります。
設定時間は自由に変更できます。詳しくはプログラミングのページをご覧ください。



STEAM

注 意 スチーム使用に際しては、はじめにパイプ内に結露した水（湯）が出ますのでヤケドに注意してください。

注 意 スチームの使用中・使用直後は、スチームパイプが高温になりますのでヤケドに注意してください。

注 意 スチーム使用後はパイプ･ノズルを湿った布でよく拭きスチームの空だしを行ってください。
（パイプ内にドリンクが詰まり異臭発生や故障の原因となります。）

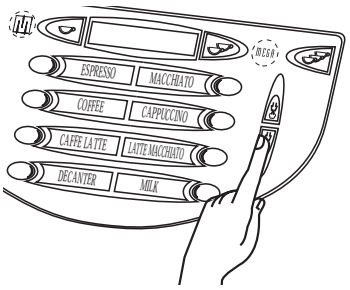
熱湯の使用

紅茶など少量の熱湯をつかう場合に使用します。

熱湯ボタンを押すと熱湯ノズルから湯がでます。
このときディスプレイ表示は、“HOT WATER” と表示されます。

熱湯を止めるときは、再度熱湯ボタンを押してください。

※ 熱湯は自動的に止まりますが、使用目的から約4分（最長）に設定してあります。
設定時間は自由に変更できます。詳しくはプログラミングのページをご覧ください。



HOT WATER

〈参 考〉
1. 一度押した抽出ボタンを変更したい場合は、変更先のボタンを押してください。
2. 1カップ・2カップの選択が行なわれないまま放置すると、約30秒でキャンセルされます。
3. 抽出が開始されてから途中で抽出を停止する場合は、任意の抽出ボタンを押してください。
ミルクベースのコーヒー抽出の中断は、コーヒー抽出中とミルク抽出中にそれぞれ任意のボタンを押してください。
4. スチームと熱湯は同時に使用することができません。

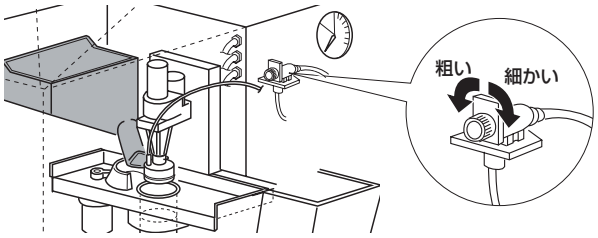
ミルクの調整

ミルクの泡立ちの調整

パネルを開けてレギュレーターのネジを調整してください。

レギュレータのネジを時計回しに回すと泡が細かく、
反時計回しに回すと泡は粗くなります。

※但し、泡を細かくすると、ミルクの温度が下がります。
また、ミルクの泡を粗くすると、温度が上がります。

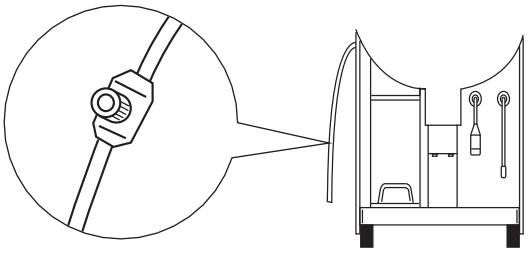


ミルク温度の調整

ミルクチューブの中程にある調整ネジで調整してください。

時計回しに閉めると温度が上がり、反時計回しに開けると
温度が下がります。

※但し、温度を上げると、ミルクの量が減ります。
また、温度を下げると、ミルクの量が増えます。



ミルクの量の調整

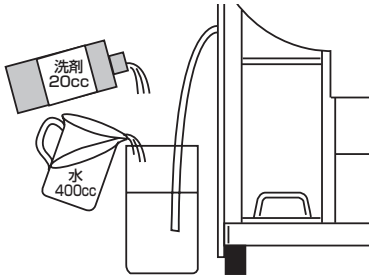
ミルクの量の調整はプログラムにて行ってください。

（「プログラミング」のP11の10 とP12の13 を参照ください。）

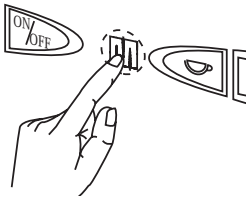
操作方法

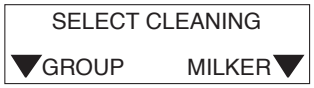
ミルカーの洗浄

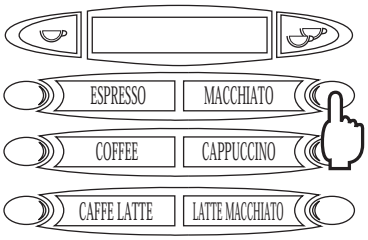
1 **400ccの水に20ccの洗剤を溶かした洗浄水にミルクチューブを差し込んでください。**



2 **マッコマークボタンを押し、次にマキャートボタン(T2)を押すと自動的にミルカーの洗浄が開始されます。**





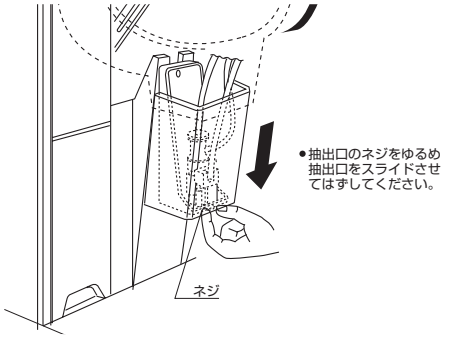


3 **2の自動洗浄を洗浄水がなくなるまで2～3回繰り返してください。**

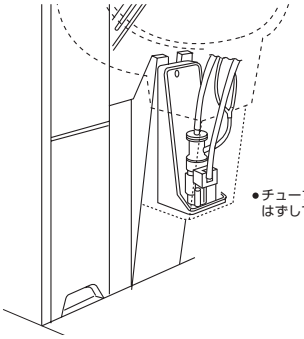
4 **清水を入れた容器にチューブを差し替え、自動洗浄を行ない洗い流します。**

5 **パネルを開き、ミルカーを取り外し、チューブを抜いて分解し、付属のミルクブラシでミルカー内の穴を清掃し、食器用の中性洗剤で残ったミルクが無い様に洗い、よく水洗いしてください。**

ミルカーの取り外し

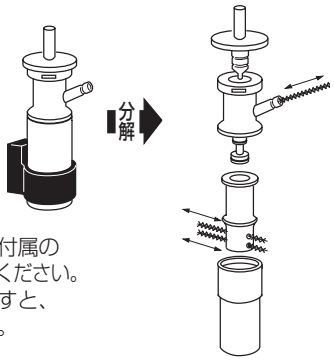


●抽出口のネジをゆるめ抽出口をスライドさせてはずしてください。

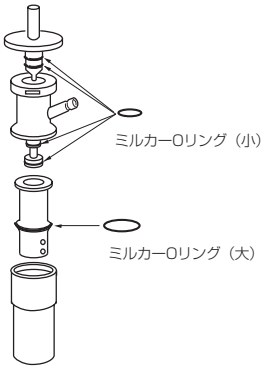


●チューブを抜きミルカーをはずしてください。

ミルカーの洗浄



※ミルカーの穴は、必ず付属のミルクブラシで掃除してください。他のもので掃除されますと、故障の原因となります。

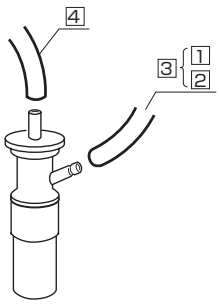


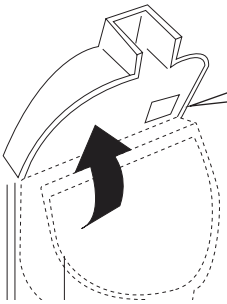
ミルカーOリング交換方法

ミルクの泡立ちが悪くなった。または、Oリングの消耗が確認できましたらミルカーOリングを交換してください。

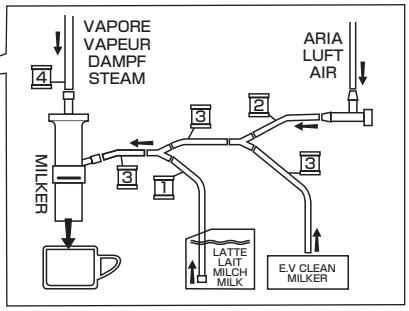
6 **ミルカーを組み立てて、チューブを差し直して抽出口に取り付けます。**

※**5** と逆の順番で組み立ててください。
※外したチューブはチューブ接続シールを参照につなぎ直してください。



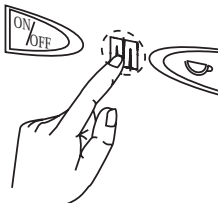


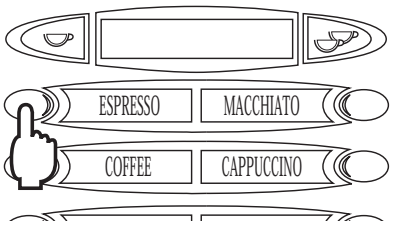
チューブ接続シール



グループの洗浄

1 **マッコマークボタンを押し、次にエスプレッソボタン(T1)を押します。**

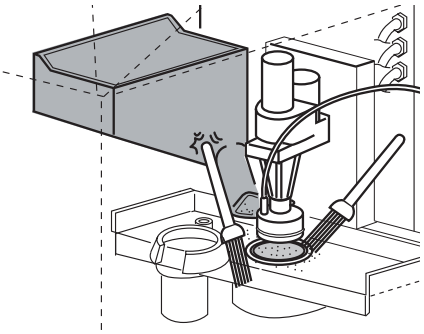




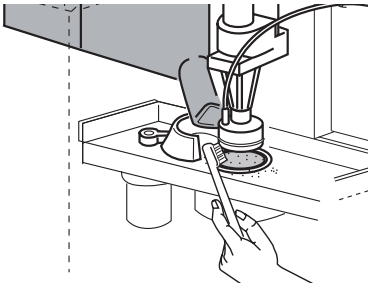
SELECT CLEANING
▼GROUP MILKER▼

GROUP CLEANING
OPEN FRONT PANEL AND CLEAN

2 **パネルを開けて、シューター(茶色の部品)をブラシの柄で軽く叩いて溜まったコーヒーを落とし、ピストン周辺をブラシで掃除します。**



3 **その後、上下のフィルターをフィルター清掃ブラシできれいにふきとってください。**

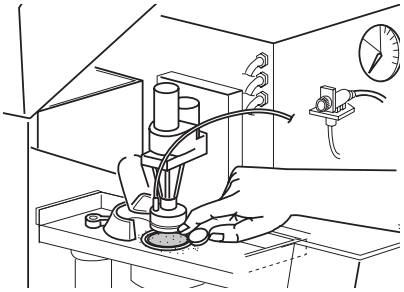


4 **パネルを閉じ、3秒ほどするとディスプレイが表示されます。**

注：ディスプレイに表示が出るまで次の作業を行わないでください。

GROUP CLEANING
INSERT CLEANSER

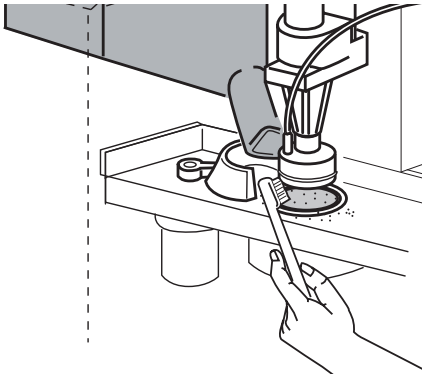
5 **パネルを開けて、シリンダー内に洗浄タブレットを投入し、パネルを閉じます。**

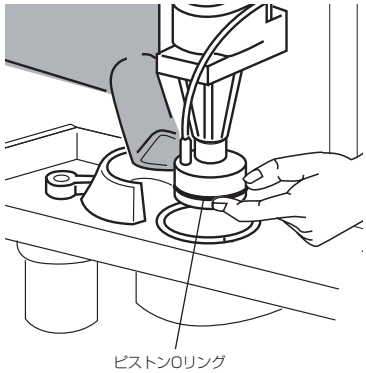


6 **自動洗浄が開始されます。**

注：自動洗浄中は電源を切ったりパネルを開けないでください。

7 **自動洗浄が終了したら、ピストン周辺や上下のフィルターはもう一度、フィルター清掃ブラシできれいにふきとってください。**





ピストンOリング交換方法

2ヶ月に1回、またはコーヒーの液もれが確認できましたら、ピストンOリングを交換してください。

プログラミング(抽出の設定・変更)

本機では各ドリンクの分類を下表のようにまとめています。

コーヒーベースドリンク		ミルクベースドリンク		デカンタコーヒー	使用禁止
Kaffee creme	Schnaps	Cappuccino	Caffe latte	Pot	Disabled
Espresso	Kaennchen	Macchiato	Renverse	Jug	
Coffee	Lutz	Latte macchiato	Cafe au lait	Filter Kaffee	
Kaffee	Fertig	Milchkaffee	Cafe chauffeur	Decanter	
Black coffee	Grosser brauner	Cafe	2 Espressi	Becher	
Ristretto	Kleiner brauner	2 Ristretti	2 Cafes		
Schale	Verlaengerter				
Entkoffeiniert	Melange				
Koffeinfrei	Schuemli	ミルク			
Fruehestueck	Cafe petit dejeuner	Lait chaud	Latte		
Sans cafeine espresso	Sans cafeine caffe	Milk	Milch		

※分類によって、各プログラムの内容が異なります、10ページのプログラム項目一覧表と合せてご覧ください。

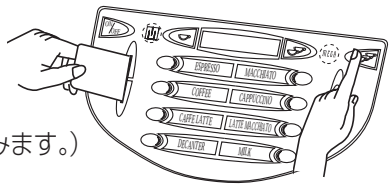
ドリンク類の抽出プログラミング

1 **操作パネルのON/OFFボタンを押して“ON”にします。**
(OFF表示ではプログラミングできません。
また、初期のボイラー加熱中もプログラミングできません。)

SELECT DRINK

▲この状態のときにOWNER'S CARDを差し込みます。

2 **OWNER'S CARD(オーナーズカード)をカードリーダーに差込み、連続抽出ボタン(#16)をおよそ5秒間押し続けます。**
(カードは、金色チップが左奥になる向きで差し込みます。)



DOSE PROGRAMMING
SELECT BUTTON

▲連続抽出ボタンをおよそ5秒間押した時の表示

3 **抽出内容を設定・変更(プログラム)する抽出ボタンを押します。**
連続抽出ボタンを押すごとに各プログラム項目が表示されますので、
ご希望の設定・変更を行ってください。
※分類(上記表参照)によってプログラム項目が違います。
10ページのプログラム項目一覧でお確かめください。

DOSE PROGRAMMING
SELECT BUTTON
ESPRESSO

エスプレッソボタン(#1)を押した場合のディスプレイ表示

各プログラム項目共通で、変更を登録して次の項目にうつる場合は、**連続抽出ボタン(#16)**を、
変更を登録せずに次の項目にうつる場合は、**“メガ”マークボタン**を、一つ前の項目にもどる場合は、
“マッコ”マークボタンを押します。

ドリンクの種類(名前)を変更したい場合は、ディスプレイ横の ◁ または ▷ ボタンを押すと変更できます。
ディスプレイのドリンクの種類(名前)は ▷ を押す毎に変わります。(◁ を押すと逆の順番)
ご希望の名前に設定してください。
設定したドリンク名によってプログラム内容が変わります。

プログラム項目一覧

	ディスプレイ表示	コーヒーベースドリンク	デカンタコーヒー	ミルクベースドリンク	ミルク
1	DOSE PROGRAMMING GRINDER 1	↓	↓	↓	
2	DOSE PROGRAMMING DECAFFEINATED ENABLE	↓			
3	DOSE PROGRAMMING PUMP ENABLE		↓		
4	DOSE PROGRAMMING GRIND TIME x.x s	↓	↓		
5	DOSE PROGRAMMING PRE-INFUSION x.x s	↓		↓	
6	DOSE PROGRAMMING PRE-INFUSION xx cc		↓		
7	DOSE PROGRAMMING PAUSE x.x s		↓		
8	DOSE PROGRAMMING WATER VOLUME xx cc	↓	↓	↓	

	ディスプレイ表示	コーヒーベースドリンク	デカンタコーヒー	ミルクベースドリンク	ミルク
9	DOSE PROGRAMMING EXTRA WATER VOLUME xx cc	↓	↓	↓	
10	DOSE PROGRAMMING STEAMED MILK PRE xx s				↓
11	DOSE PROGRAMMING FOAMED MILK PRE xx s				↓
12	DOSE PROGRAMMING MILK-COFFEE PAUSE xx s				
13	DOSE PROGRAMMING STEAMED MILK POS xx s				
14	DOSE PROGRAMMING FOAMED MILK POS xx s			↓	
15	DOSE PROGRAMMING DOSE PRICE xxxx				
16	DOSE PROGRAMMING X2 ENABLE	↓	↓	↓	

1 グラインダー（ホッパー）の選択

1カップボタン（#13）または、2カップボタン（#14）を押すとディスプレイ表示の“GRAINDER 1”と“GRAINDER 2”が変更できます。ご希望のグラインダーを選択してください。
（左ホッパーがグラインダー1、右ホッパーがグラインダー2です。）

DOSE PROGRAMMING
GRINDER 1

2 粉コーヒーを用いた抽出を可能にするか不可にするかの選択

1カップボタン（#13）または、2カップボタン（#14）を押すとディスプレイ表示のENABLE（可能）とDISABLE（不可能）が変更できます。

DOSE PROGRAMMING
DECAFFEINATED
ENABLE

3 抽出にポンプを使用するか水道圧だけで抽出するかの選択

1カップボタン（#13）または、2カップボタン（#14）を押すとディスプレイ表示のENABLE（ポンプ圧抽出）とDISABLE（水道圧抽出）が変更できます。

DOSE PROGRAMMING
PUMP
ENABLE

4 粉量の設定

グラインダーの動作時間（単位：秒）で粉量を調整できます。
1カップボタン（#13）を押すと減少、2カップボタン（#14）を押すと増加します。動作時間は0.0～25.5秒まで0.1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
GRIND TIME
x.x s

プログラミング（抽出の設定・変更）

5 蒸らし湯量の設定

蒸らし湯量を調整できます。
1カップボタン（#13） を押すと減少、2カップボタン（#14） を押すと増加します。動作時間は0.0～25.5秒まで0.1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
PRE-INFUSION x.x s

6 蒸らし湯量の設定（デカンタコーヒー分類のみ）

蒸らし湯量を調整できます。
1カップボタン（#13） を押すと減少、2カップボタン（#14） を押すと増加します。湯量は0～1,500ccまで1ccずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
PRE-INFUSION xx cc

7 蒸らし時間の設定（デカンタコーヒー分類のみ）

蒸らし時間を調整できます。
1カップボタン（#13） を押すと減少、2カップボタン（#14） を押すと増加します。動作時間は0.0～25.5秒まで0.1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
PAUSE x.x s

8 抽出量の設定

抽出量を調整できます。
1カップボタン（#13） を押すと減少、2カップボタン（#14） を押すと増加します。湯量は0～1,500ccまで1ccずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
WATER VOLUME xx cc

9 希釈水の量設定

希釈水の量を調整できます。
1カップボタン（#13） を押すと減少、2カップボタン（#14） を押すと増加します。湯量は0～45ccまで1ccずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
EXTRA WATER VOLUME xx cc

10 ホットミルク量の設定（コーヒー抽出前）

コーヒー抽出前のホットミルクの量を動作時間(単位：秒)で調整できます。
1カップボタン（#13） を押すと減少、2カップボタン（#14） を押すと増加します。動作時間は0～255秒まで1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
STEAMED MILK PRE xx s

11 ミルクフォーム量の設定（コーヒー抽出前）

コーヒー抽出前のミルクフォーム量を動作時間(単位：秒)で調整できます。
1カップボタン（#13） を押すと減少、2カップボタン（#14） を押すと増加します。動作時間は0～255秒まで1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
FOAMED MILK PRE xx s

12 コーヒー抽出開始の遅れ時間設定（デカンタコーヒー分類のみ）

抽出開始の遅れ時間(単位：秒)を調整できます。
1カップボタン（#13） を押すと減少、2カップボタン（#14） を押すと増加します。動作時間は0～255秒まで1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
MILK-COFFEE PAUSE xx s

13 ホットミルク量の設定（コーヒー抽出後）（デカンタコーヒー分類のみ）

コーヒー抽出後のホットミルクの量を動作時間(単位：秒)で調整できます。
1カップボタン(#13) を押すと減少、2カップボタン(#14) を押すと増加します。動作時間は0～255秒まで1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
STEAMED MILK POS xx s

14 ミルクフォーム量の設定（コーヒー抽出後）（デカンタコーヒー分類のみ）

コーヒー抽出前のミルクフォーム量を動作時間(単位：秒)で調整できます。
1カップボタン(#13) を押すと減少、2カップボタン(#14) を押すと増加します。動作時間は0～255秒まで1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
FOAMED MILK POS xx s

15 販売単価の設定

使用しません。

DOSE PROGRAMMING
DOSE PRICE xxxx

16 2カップボタンの使用を可能にするか否かの設定

抽出ボタンを押した後、1カップボタン、2カップボタンの選択を行なうかただちに1カップの抽出を行うかを指定できます。
1カップボタン(#13) 又は2カップボタン(#14) で
ENABLEかDISABLEを選びます。
DISABLE：抽出ボタンを押すと1カップ分の抽出します。
ENABLE：抽出ボタンを押した後、1杯抽出か2杯抽出を選んで抽出します。
（ENABLEにするとプログラムは、**4**に戻り2カップ用ボタンのプログラムを行います。）

DOSE PROGRAMMING
x2 ENABLE

熱湯のプログラミング

1 熱湯ボタン(#9)を押します。
1カップボタン(#13) を押すと減少、2カップボタン(#14) を押すと増加します。動作時間は0.0～120.0秒まで0.1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
TEA WATER
xxxx.x s

スチームのプログラミング

1 スチームボタン(#10)を押します。
1カップボタン(#13) を押すと減少、2カップボタン(#14) を押すと増加します。動作時間は0.0～120.0秒まで0.1秒ずつ変更できます。

DOSE PROGRAMMING
STEAM TIME
xxxx.x s

故 障 診 断

◎ 本機に異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。

◎ サービスを依頼する前に、次のことを確認してください。
・電源プラグはしっかり差し込まれているか。
・水道の元栓は開いているか。

◎ サービスを依頼する場合は確認された症状をくわしくお伝えください。
また、ディスプレイにどの表示が出ているか下記参照のうえ、マーク左横の数字、アルファベットにてお伝えください。

■ 本機は故障の原因をシンボルマーク文字で表わします。

ディスプレイ	症　状	原　因	処　置
①	**電源は入るが動かない。**	スイッチパネルドアが完全に閉じてない。	スイッチパネルドアを完全に閉じてください。
②	**コーヒーを使った抽出ボタンが動かない。**	カス受けが正しい位置にセットされていない。	カス受けを正しい位置にセットしてください。
③		カス受けが満杯です。	溜まったカスを捨ててください。
④		コーヒーボイラーが適湯に達していない。	マークが消えるまでしばらくお待ちください。
⑤	**ミルクを使った抽出ボタンと熱湯・スチームが動かない。**	スチームボイラーが適湯に達していない。	マークが消えるまでしばらくお待ちください。
⑥		抽出装置のクリーニング時期。	抽出装置のクリーニングを行ってください。
⑦		ミルカークリーニング時期。	ミルカーのクリーニングを行ってください。
⑧ MACHINE OFF TROPPO CAFFEE MACHINE OFF TOO MUCH COFFEE	**電源OFF**	上ピストンのフィルターまたはピストン周辺がコーヒーの粉で汚れている	上ピストンのフィルターまたはピストン周辺をフィルター清掃ブラシで清掃し、電源をONにしてください。
⑨ MACHINE OFF H.MOTOR ERROR		ピストンの動作不良	電源のコンセントを抜き、10分以上経過してから再度コンセント差し込み電源をONにしてください。上記を実行しても復旧しない場合は、サービスコールしてください。
⑩ MACHINE OFF L.MOTOR ERROR			

■ その他のトラブル表示

Ⓐ OFF GROUP MOTOR H　Ⓒ OFF T.O. STEAM HEATING　Ⓔ 　Ⓖ 　Ⓘ 　Ⓚ

Ⓑ OFF GROUP MOTOR L　Ⓓ OFF T.O. COFFEE HEATING　Ⓕ 　Ⓗ 　Ⓙ

仕　様

	MACCO 全自動エスプレッソコーヒーマシン
モデル	MEGA
外形寸法（mm）	幅 446 /　奥行 565 /　高さ 690（ホッパー含840）
重量	74kg
電源	3相200V、50/60Hz
消費電力	6.5kw
ボイラー容量	コーヒーボイラー：2/ ／スチームボイラー：4/

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

お客様へのお願い

この機械の設置に際して、水道給水配管の途中に浄（軟）水器を取り付けてあります。これは、水道水のにおいを吸収したりゴミの流入防止やスケール付着を予防する役目がありますが、定期的なカートリッジ交換が必要です。交換時期や費用につきましては、販売店またはメンテナンス業者へお問合せください。
（カートリッジ代及び交換作業費は、保証期間中でも有償となります。）

ラッキーコーヒーマシン 株式会社

本　　社	〒658-0023	神戸市東灘区深江浜町95番	☎(078)451-8300 FAX(078)451-5777

■営業支店・営業所

広域営業部	〒105-8577	東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル4F	☎(03)5400-3483 FAX(03)5400-3528
東日本支店・ショールーム	〒146-0082	東京都大田区池上3丁目32-13	☎(03)5747-5577 FAX(03)3755-4091
札幌営業所	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号	☎(011)898-4988 FAX(011)897-1467
名古屋支店・ショールーム	〒451-0046	名古屋市西区牛島町5番4号 1F,2F	☎(052)587-7678 FAX(052)587-7677
大阪支店・ショールーム	〒537-0001	大阪市東成区深江北3丁目5番7号	☎(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660
西日本支店・ショールーム	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 福岡MIDビル2F	☎(092)433-0178 FAX(092)433-0174

13.05 KI